

和歌山病院での実習を終えて



長 陽二郎

9月6日、7日の二日間和歌山病院で呼吸器内科の実習をさせていただきました。県内で唯一の結核入院施設であるということで駿田副院長から結核についての詳しい講義や施設についての説明をしていただきました。講義を通して、結核に対する知識を整理することができ、また感染力が強いために適切に診断することの重要性を教えてくださいました。南方院長にはX線の読影の仕方と肺の区域について教えてくださいました。X線の読影は今まで漠然と読んでいましたが、基本となる考え方を教えていただいたことで今後は明確な基準をもって読むことができるようになりそうだと感じました。肺の区域は頭で考えるのではなく身体に叩き込まれたことで当分忘れずにすみそうです。また私が勉強不足で分かっていないことも丁寧に教えてくださいました。知らないことが分かるようになる実感があつたのもっと講義を受けたかったと思います。南方院長との食事会でも面白いお話を聞かせていただき非常に充実した実習でした。

実習を通して呼吸器内科の面白さを感じられたと思います。南方院長、駿田副院長をはじめ、和歌山病院のみなさまお世話になりました、ありがとうございました。この経験を活かして良い医師となれるように努力していきたいと思います。